

《修士論文要旨》

## 女性をめぐる関連語句と場所性の研究

～米国地理雑誌『ナショナル・ジオグラフィック』記事の内容分析～

林 悦 子\*

本論文では120年にわたり情報を発信してきた米国地理雑誌『ナショナル・ジオグラフィック』の記事を用いて、同誌により世界の人々に対して発信された女性の姿を明らかにする。また同時に、「女性」がそれぞれの社会・文化の核心部分に関わっており、直接的、間接的にせよ女性を意識した社会的動きが時代を写し取り、時代の変革の鍵を握っているという認識を前提として、『ナショナル・ジオグラフィック』が「女性」を捉え記事として発信する際に選ばれ、最終的にはわたしたちのもとに届いた語句の中から、関連語句を分析することで明らかとなる女性と場所性について考察することを目的とする。

まず、同誌が発行された社会的背景を知るために、アメリカについての初期の歴史、また創刊時のアメリカの歴史について調べた。そして、アメリカの女性についてもその歴史を考察材料とした。関連語句の分析には、米国地理雑誌『ナショナル・ジオグラフィック』の創刊号から2009年9月号までの記事の中から、「女性」がキーワードとなった記事を対象とした。これらは約101件ほどであり、その記事が掲載された年代と場所や表紙への女性の出現状況について概略をまとめた。さらに記事に登場する女性の立場や特性によってカテゴリ分けをした。そして、さらにカテゴリ分類されたものを記述から読み取れる情報によってグループにわけた。これら歴史的な年表と記事の系譜をひとつの年表をひとつにまとめ、時代と呼応する流れや、そぐわない時期などについて考察した。また、ひとつのカテゴリ内において、任意の記事を取り上げ、その記事に描かれた「女性」をとりまく関連語句を抽出した。その関連語句について、記事の特性や場所性がどのように読み取れるかを考察した。記事の考察や分析の対象をしぼりこむためにナショナル・ジオグラフィックより販売されているDVD『THE COMPLETE NATIONAL GEOGRAPHIC Every Issue Since 1880』（2010）を用いた。ここで用いるキーワードとは、このDVDに収録されている各記事の概要に出現があれば検索結果として換算された結果得られる情報である。本稿では「女性」を中心にその関連語句を抽出し場所性を考察することを目的にすすめてきた。またそれにより浮かび上がる場所性について検討した。

本誌についてその性質を知ろうとする過程で、重要と思われる以下のような考察材料をアメリカの歴史の中から抽出した。イギリス人が入植し社会を築いた13州においてはそれぞれの社会が持ちよりのルールに従って形成されていたこと。一般的なピューリタリズムだけに染まった社会ではなく、実に多様な文化が集まった時代としての植民地時代初期や、ゴールドラッシュという経済的隆盛期を経て、時代を下るごとにまた新たなる地から押し寄せる移民の数もすさまじい中

平成24年度 \*文学研究科地理学専攻

で、自己所有財産への影響を考えた旧移民から新移民への抑圧が行われたこと。旧移民が自国と自己の同一化を図り、アメリカ人としてのアイデンティティを獲得しようとする時代、『ナショナル・ジオグラフィック』が創刊されたことなどである。同誌の創刊号から2009年9月号までの記事の中から、「女性」がキーワードとなった記事を対象として、その記事の年代別件数と場所や表紙への女性の出現状況などについて概略をまとめた。2000年以降に大きく数を伸ばした「女性」記事の存在が明らかとなり、女性記事と表紙への女性の登場回数の密なつながりを確認できた。

また、描かれた女性のカテゴリ分類をするにあたり、グループに属さず、個人的な能力について描かれる女性がないことが明らかとなった。個人的な能力にせまったミクロな記述が存在しないことを示す。文化社会のなかで、個人と捉えられた女性は、その場所における「女性」であることで一般化された記述になることを表している。これは、ひとつの、対象を取り上げる指針をつくりだす要因のひとつだと示唆した。

アメリカという国のなりたち、女性たちの歴史をふまえて取り組むことで、ここでは関連語句の分析による「2つの場所性」が示された。まずひとつは、女性をめぐる関連語句を読み解くことで推察される「場所性」である。これらは個々の記事それぞれに存在するものである。ふたつめは、アメリカの場所性である。これは、時代を通じて恒常的に登場する『母』や『子ども』、『夫』といった家庭と結びつくような語句を用いて表現される女性の存在により推察された。その意識づけられた状態もアメリカという国のひとつの「場所性」であると考えられる。このことは、雑誌をつくるナショナル・ジオグラフィックの姿勢や彼らの根底に流れる理念、強いてはアメリカ建国の精神をも支える根幹をなすテーマにせまることができたといえよう。